

# DK-65

Kashimura

ワイヤレス充電ホルダー  
4角アーム 吸盤



ご使用前には必ず、当取扱説明書をお読みいただき正しくご使用ください。

## 取 扱 説 明 書

### 同 梱 内 容

本 体 (マウントパーツ付)

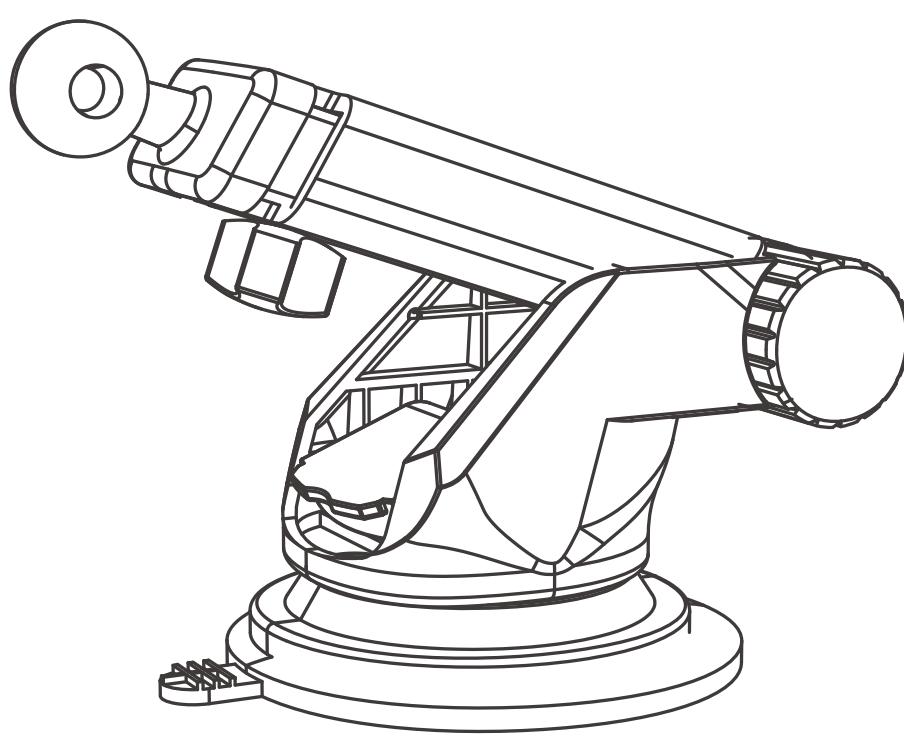
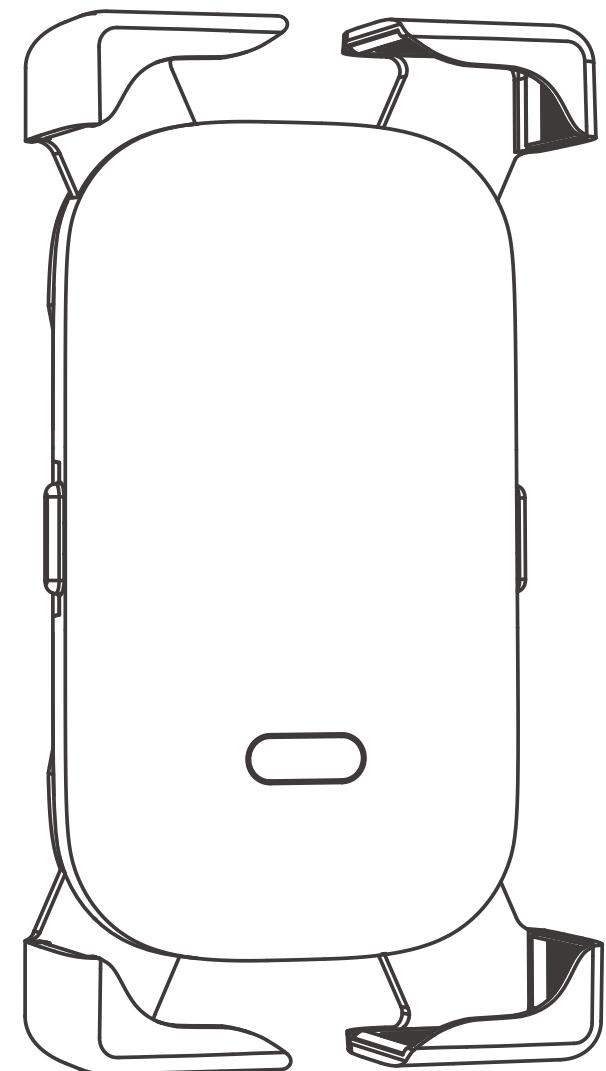
電源用ケーブル (USB-A to C )

取付用プレート (φ70mm / 両面テープ付)

同梱品がすべてそろっていることをご確認ください

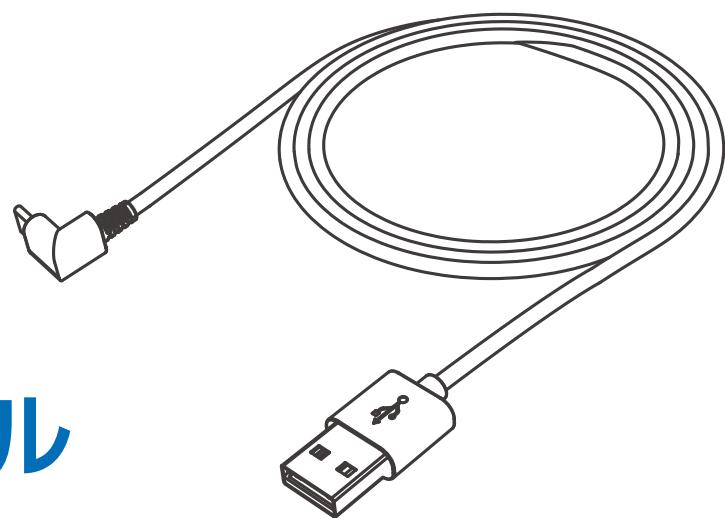
**本体**  
マウントパーツ付き

本体

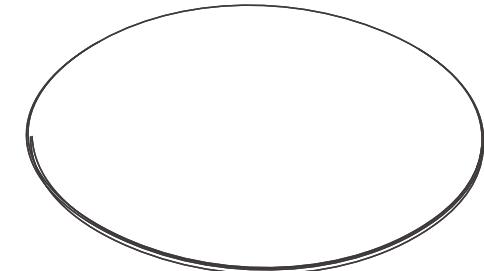


マウントパーツ

**電源用ケーブル**  
USB A-C ケーブル

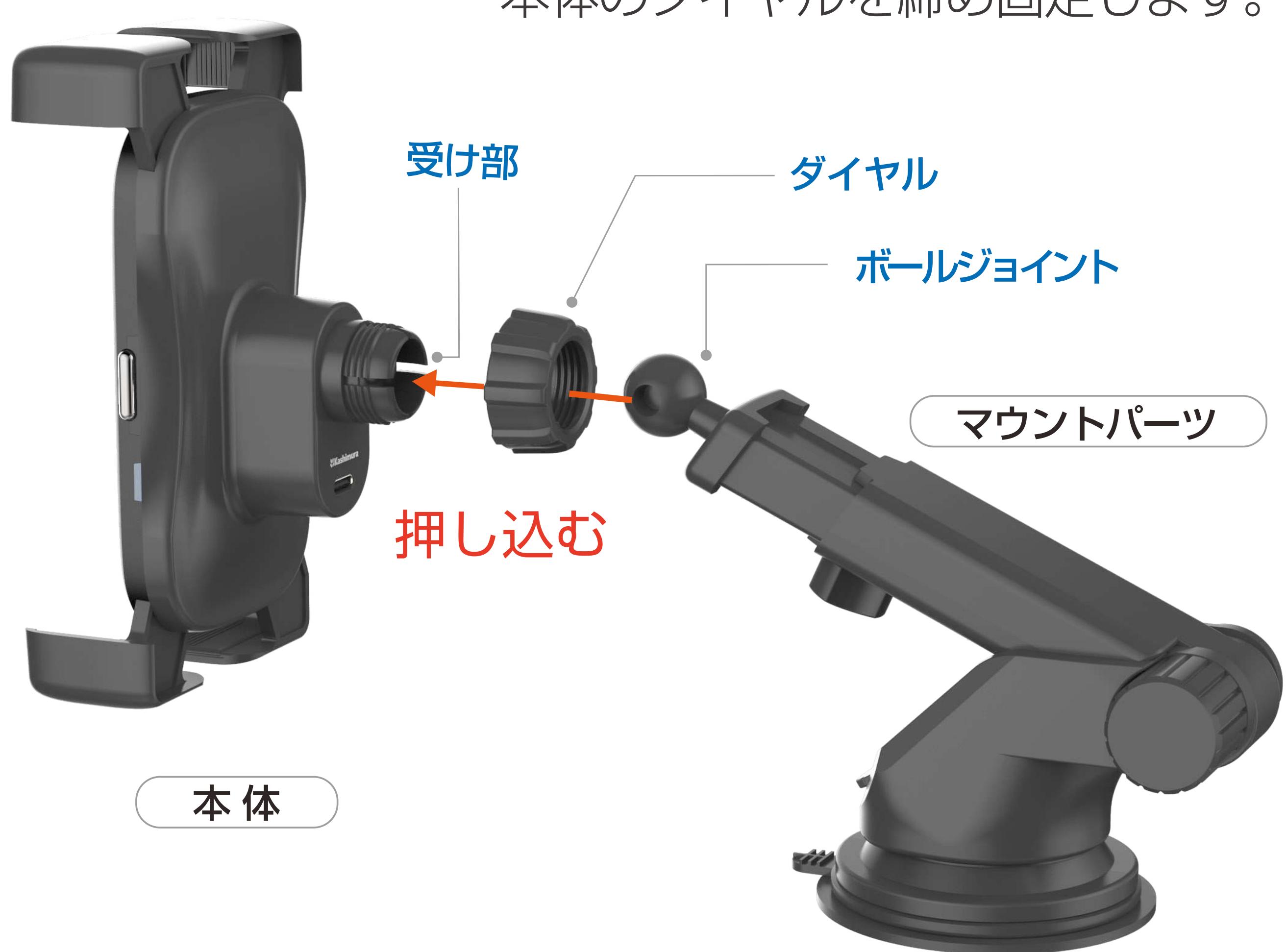


**取付用プレート**  
 $\phi 70\text{mm}$  / 両面テープ付き



マウントパーツと本体は連結して使用します

- ①本体背部のダイヤルをゆるめて外します。
- ②マウントパーツ先端のボールジョイントを本体から外したダイヤルを通してから受け部に押し込み、本体のダイヤルを締め固定します。



# - 本製品の取付け位置について -

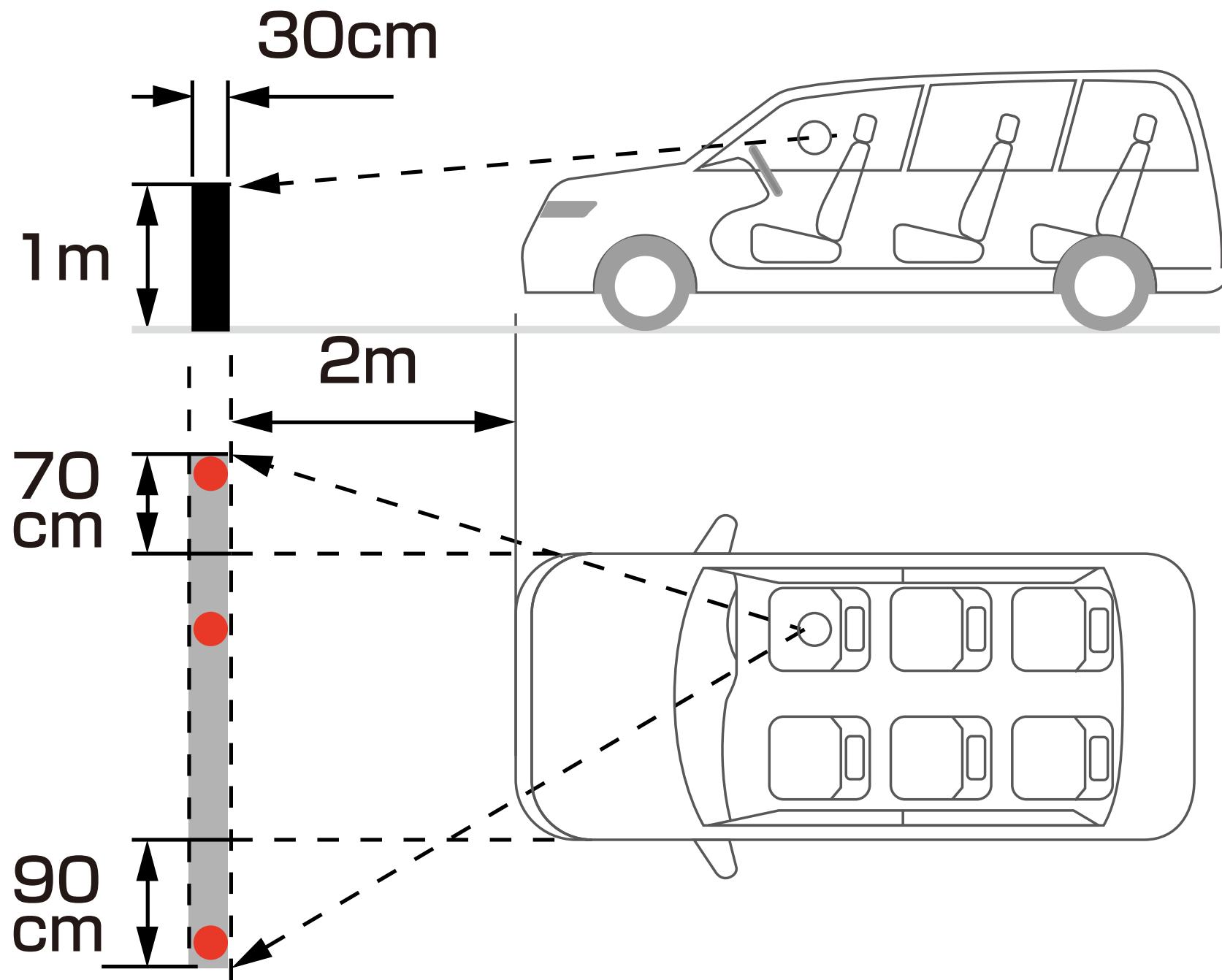
- 国土交通省の定める保安基準に適合させるため、下図を参照にし、運転者の視界を妨げないように本製品を設置してください

※下図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合、左右逆になります。

- フロントガラス、側面ガラスへの取付は保安基準不適合となりますので、絶対におやめください。

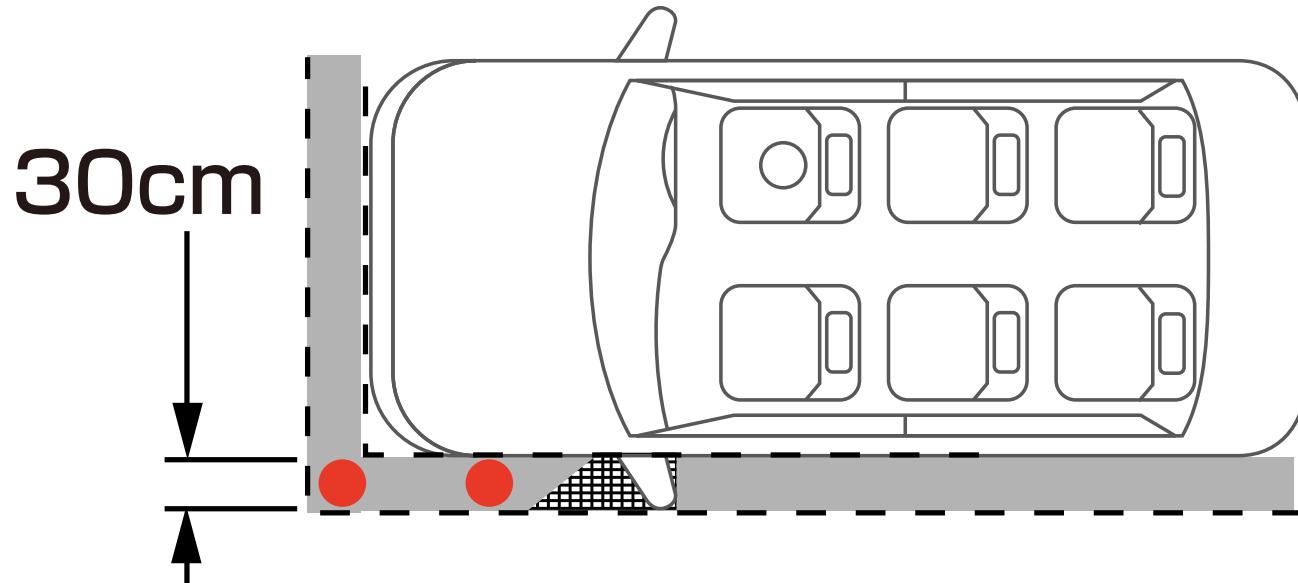
## 前方視界基準

自動車の前方2mにある高さ1m、直径30cmの円柱を、鏡等用いず直接確認できること



## 直前直左視界基準

自動車の前面及び左側面に(左ハンドル車の場合は右側面に)接する高さ1m、直径30cmの円柱を鏡等を用いず直接確認できること



: 運転視界基準エリア
● : 高さ1m、直径30cmの円柱
: 適応外エリア Aピラー及び室内後写鏡により 視界が遮られるエリア

# 車両への取付け手順

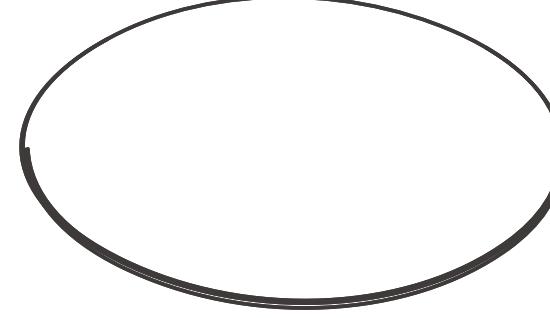
1

車両の設置箇所へ取付用プレートを貼付けます

必ずご使用ください。

付属品

取付用プレート



製品設置時の吸着を良くし安定させながら、設置面を保護するためのものです。

- ① 製品のマウントパーツの吸盤を取り付ける箇所（車のダッシュボードなど）の汚れや油分をしっかりと拭き取ります。  
※設置面がホコリや油分等で汚れていると確実な吸着ができません。  
※曲面への貼付けは避けてください。
- ② 製品のマウントパーツの吸盤取り付け箇所へ取付用プレートを貼付けます。  
※裏面の赤い保護フィルムを剥がして車両に取り付けます。
- ③ 取付用プレート表面の透明保護フィルムを剥がします。  
※PP面が汚れると吸盤の吸着力が低下しますので、触れないでください。  

【上面】(PP面)  
透明保護フィルムを剥がします

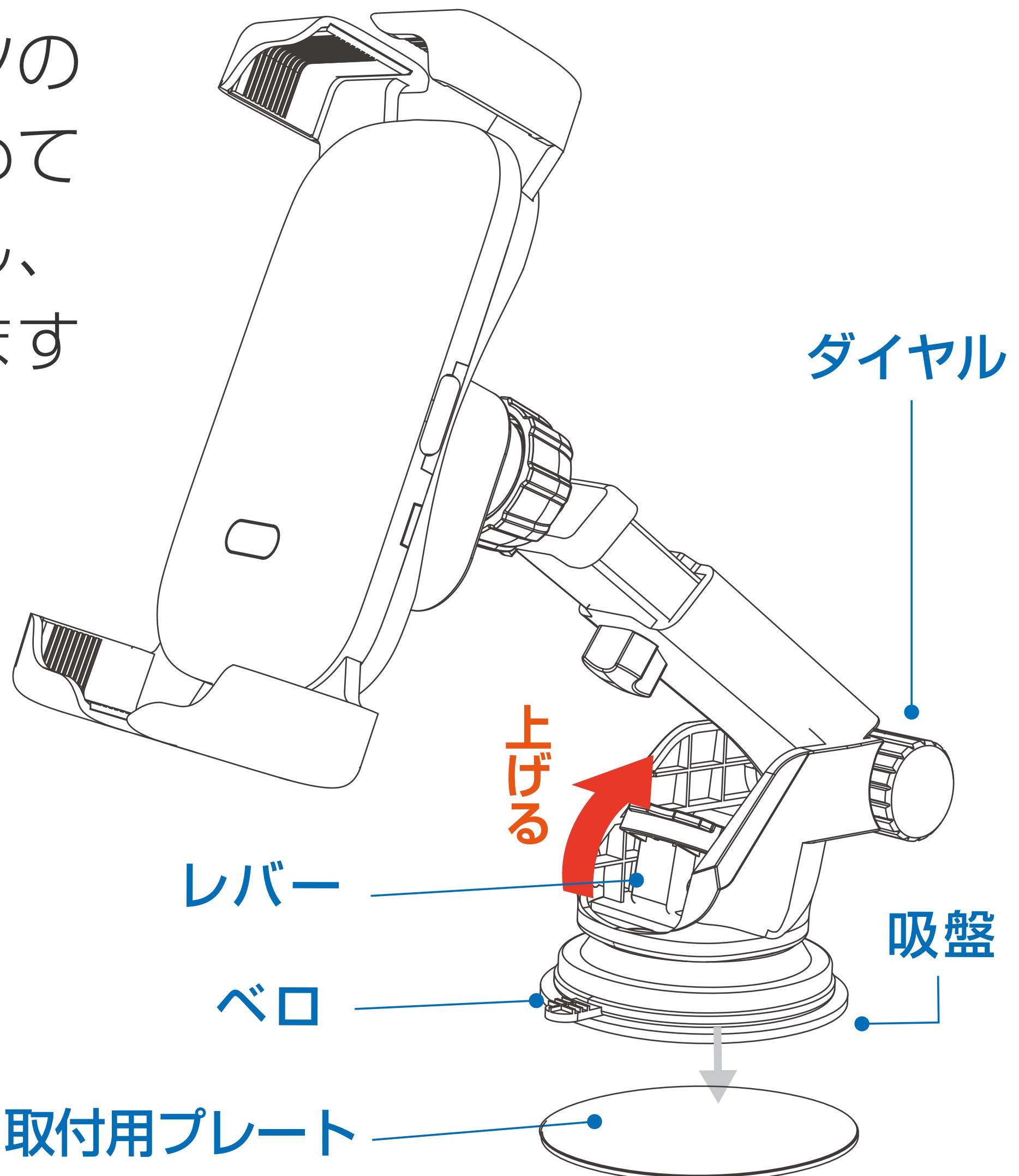
An illustration of a white adhesive plate with a small blue dot on its surface, indicating the point where the protective film should be peeled off.  

【下面】(両面テープ面)  
赤い保護フィルムを剥がします

②

## 取付用プレートへマウントパーツを設置します

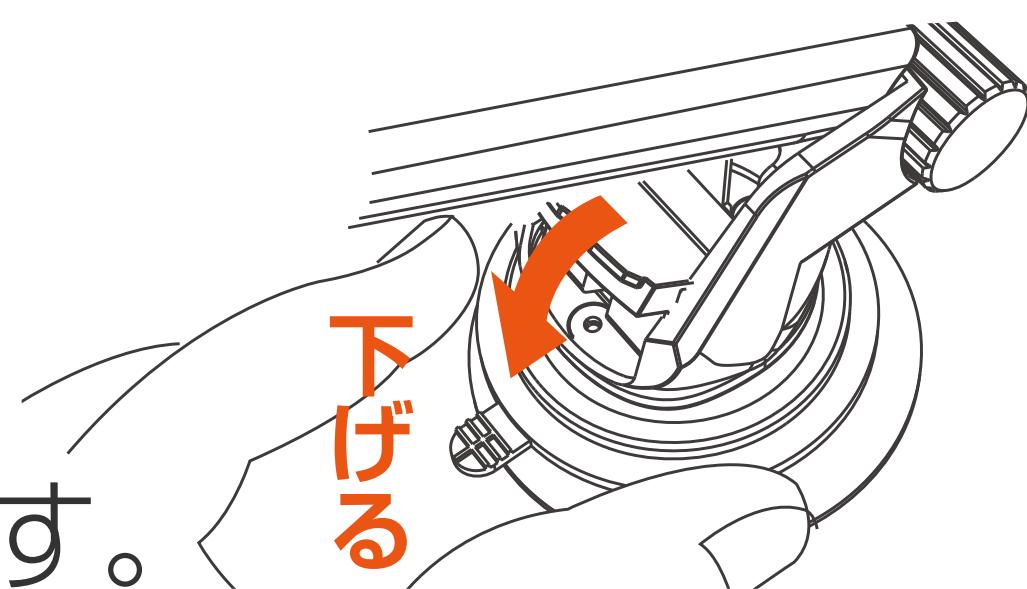
- ④ マウントパーツの  
ダイヤルを緩めて  
アームを起こし、  
レバーを上げます



- ⑤ 吸盤裏の保護フィルムを剥がします。

※吸盤面に触れないでください。  
吸盤面が汚れると吸着力が低下します。

- ⑥ 設置した取付用プレートに  
マウントパーツの吸盤を  
押しつけながら  
レバーを下げて取り付けます。



※ 車両から取外す際は、ダイヤルを緩めて  
レバーを上げてから、吸盤のベロ部分を持ち、  
吸盤をゆっくり剥がします。

# 本製品を電源へ接続

- 1 本体背部の USB-C 給電口に付属の電源用ケーブルの USB-C 端子を接続します。



ケーブルの反対側（USB-A 端子）は  
お手持ちの USB 電源に接続します。  
※USB 電源は付属しません

- 2 本製品が通電すると通電ランプが点灯します。



# スマホの設置方法

1

本製品の近接センサーに  
スマホをかざすと、  
アームが自動で開きます。



2

ワイヤレス充電部が  
合うように、中央に  
スマホを当てます。



3

ワイヤレス充電を、  
検知するとアームが  
自動で閉じます。

ワイヤレス充電を検知できない場合  
アームが開いて約3秒後に閉まります。



## USB 電源は定格 5V2A または QuickCharge2.0 以上をご使用ください

5V2A 以下の給電ポートの場合、充電できない、  
または充電に時間がかかることがあります。

※本製品と充電する端末の間に、金属や液体などの異物がないことをご確認ください。

※本製品の充電機能は、Qi 充電対応端末に対応しています。Qi 非対応端末は充電できません。

※充電時間は端末や接続する電源の給電能力等、充電環境により異なります。

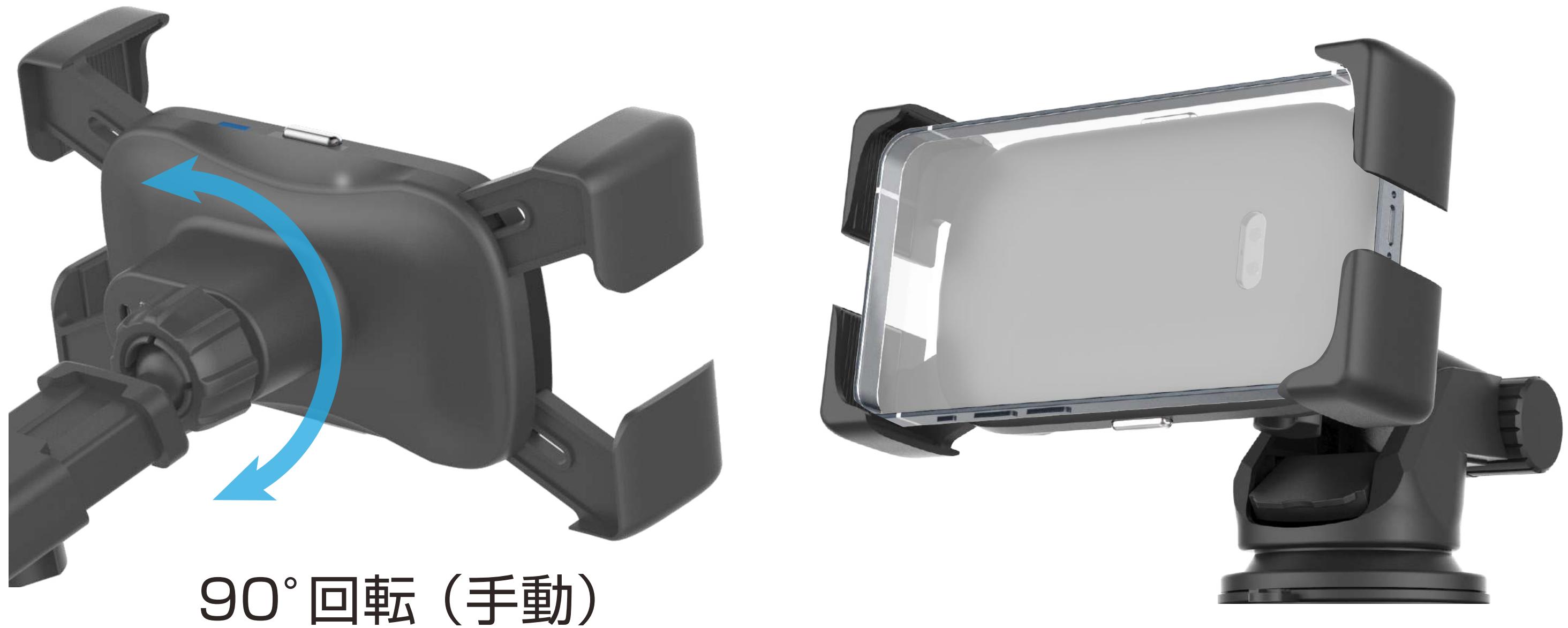
※本製品の自動開閉機能は Qi 充電対応端末に対応しています。Qi 非対応端末を設置した場合、自動開閉が作動しないなど、不具合が生じことがあります。

※急速充電には急速充電対応端末と QuickCharge 2.0 以上の USB 電源が必要です。

※スマホをホールドしたまま、車のエンジンを ON/OFF (本製品の通電 ON/OFF)すると、通電直後にアームが自動で開くことがあります。スマホの落下を防ぐために、エンジンを ON/OFF するとき (本製品の通電 ON/OFF) は、設置した端末を取りはずしてください。

# 横置き設置で使用する

背部のボールジョイントで本体を回転させると  
端末を横置きで設置できます。



90°回転（手動）

## 横置き使用時のご注意

アーム全開時、下部(脚側)に 150mm の空間ができます。  
隙間からの落下を防ぐためにスマートホンを持ちながら  
開閉操作をおこなってください。



※スマートホンの落下を防ぐために、エンジンを ON/OFF(本製品の通電  
ON/OFF)するときは、設置したスマートホンを取り外してください。

# スマホの取り出し（アームを開く）

本製品に設置した端末を取り外す時は、両サイドのアーム開閉ボタンを押します。



開閉ボタン（両側面）

アーム開閉

1回押し

端末の取り外しは、本製品の電源が入っている時におこなってください。

電源供給停止後、アームの開閉は数回可能ですが、（目安 3 回程度）回数は環境により異なります。

※アーム開閉時は端末の落下にお気をつけください。

※電源が入っていないときに無理に手で開閉すると故障の原因になりますのでおやめください。

# ワイヤレス充電 ON/OFF

アーム開閉ボタンを長押し（約 3 秒）で、  
ワイヤレス充電機能が OFF になります。



開閉ボタン（両側面）

充電 ON/OFF

長押し（約 3 秒）

※ワイヤレス充電 OFF 時も製品の電源は ON 状態です。  
(ホルダーの自動開閉機能は ON 状態です)

通電ランプ

ワイヤレス充電 OFF の時は  
消灯になります



## - 使用上のご注意 -

- 走行中の本製品の調整・操作・端末(スマートフォン)の操作・通話・動画鑑賞は大変危険です。絶対におやめください。
- 取付けには必ず付属の取付け用プレートを使用してください。取り付け箇所やその周辺は取付け跡が残ったり接着剤成分やゲル成分が付着する可能性があります。
- 本革、合成皮革、布地、ウレタン、曲率の大きい曲面、大きな凹凸がある面には取付けできません。
- 本製品の吸盤は硬い樹脂製以外の材質のダッシュボード(本革、合成皮革、起毛地や布地面、表皮が柔らかいダッシュボード)には取付けないでください。破損・変色のおそれがあります。
- 水平面に吸盤全面を取付けてください。またご使用前には本製品がしっかりと固定されていることをご確認ください。
- 運転の妨げになる場所、危険と思われる場所、安全装置(エアバッグ、シートベルトなど)の作動効果のさまたげになる場所には取付けないでください。
- フロントガラスへの取付けはおやめください。
- 車の急発進、急停車などの振動により本製品に設置した端末が落下・破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 保護ケースを装着していない端末を本製品に設置したとき、アーム部分と擦れて端末に傷が付く場合があります。あらかじめご了承ください。
- スマートフォンケースが極端に厚いとワイヤレス充電ができない場合があります。
- ホールド可能なスマホサイズは、高さ 130mm~164mm、幅 80mm までです。
- 充電中はラジオやワンセグなどの受信状態が悪くなることがあります
- 周囲温度(使用環境温度)が 0~45°C の範囲でご使用いただき、高温や多湿になる場所(火のそば、直射日光のある場所、炎天下の車内など)で使用・保管しないでください。

- ワイヤレス充電器同士を近づけないでください。  
端末を検出できず充電できない場合があります。
- 磁気カードや磁気記録メディア、精密機器など磁気の影響を受けるものは本製品に近づけないでください。
- 端末の充電口に充電ケーブルを接続している状態で、端末を置かないでください。
- 本製品は電気製品です。水に濡らしたり濡れた手で使用しないでください。
- ショートの原因となりますので、本製品と充電する機器の間に金属や液体などの異物がないこと、端子の変形や、端子内に異物の混入や付着がないことをご確認ください。
- 電源用ケーブルの端子を斜めに挿し込んだり、接続状態で上下左右に無理な力を加えるなど、端子への負荷をかけないでください。
- 給電は付属の電源用ケーブルをご使用ください。充電するときは結束バンドなどを外し、ケーブルを延ばした状態でご使用ください。束ねた状態でのご使用は発熱の原因となり危険です。
- お子様の手の届かないところでご使用、保管してください。
- 製品の分解や改造はしないでください。  
本製品の誤った取付け、または分解や改造してのご使用による事故・故障・破損等の損害につきましては弊社では一切その責任をおいかねます。
- 本製品を使用中、異臭・変形などの異常が起きた場合、製品の使用をただちにおやめください。
- 本製品を使用中に万が一、機器の故障やメモリの消去、またバッテリーパックの破損などが発生した場合、弊社では一切その責任、保証はおいかねます。あらかじめバックアップをお取りになってからのご使用をおすすめします。
- 埋め込み型心臓ペースメーカーなどの医療用電気機器を装着されている方は、充電動作が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。  
本製品のご使用にあたっては医師へご相談ください。